

第3回 福井県1型の会(1型糖尿病療養セミナー)



小児・思春期発症、成人発症 小児科から内科への移行 それぞれの療養指導と療養生活について

～患者・医療者双方の視点から考える。より良い療養生活を目指して～

日時:平成30年11月3日(土) 13:00～17:00

会場:福井県済生会病院 研修講堂

参加費:500円(高校生以下無料)

対象:患者(全年齢)・家族、医療従事者、教職員、一般
(県外の方も参加可能)

スケジュールの詳細は、裏面をご参照ください。

お申込み方法

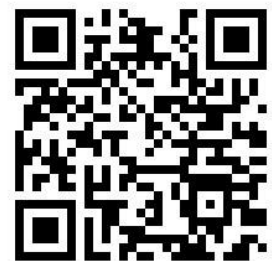
事前申し込みとなります。

右のQRコードより、専用フォームが開きますので、
そちらからお申し込みください。

お問い合わせ先

Mail: fukui.t1f.himawari@gmail.com

TEL: 080-1967-7046(川崎)



申し込み QR コード

※ご登録いただいた個人情報につきましては、今回の事務手続き以外には使用いたしません。

※福井県糖尿病協会公式ブルーサークルの恐竜(とによごん)は、福井県の地図をイメージしています。

主催:福井ひまわりの会(福井県1型の会実行委員)

協賛:日本メトロニック(株)、日本イーライリリー(株)

後援:福井県糖尿病協会、福井県看護協会、福井県薬剤師会、福井県病院薬剤師会、福井県済生会病院
ノボ ノルディスクファーマ(株)、サノフィ(株)、ライフスキージャパン(株)

スケジュール

12:00~12:50 <受付>

13:00~13:05 <開会挨拶>

福井県 1 型の会実行委員・福井ひまわりの会 副会長 水野賀夫

13:10~14:10 <講演 1>



座長:福井大学医学部小児科 准教授 畑 郁江先生

演題:「1 型糖尿病を一緒に考える ～子供から大人まで～」

講師:新潟大学医歯学総合病院 小児科 小川洋平先生

14:10~14:20 -----休憩-----

14:20~15:20 <講演 2>



座長:福井県済生会病院糖尿病・内分泌代謝 医長 金原秀雄先生

演題:「0 歳児発症から 90 歳まで、様々な 1 型の方々との

お付き合いから学んだこと、思うこと」

講師:大沢内科クリニック 院長 大澤謙三先生

15:20~15:30 -----休憩-----

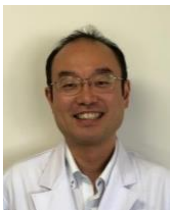
15:30~16:50 <座長・講師・参加者によるトークセッション ～みんなで語ろっさ～>

テーマ:患者・医療者双方の視点から考える。より良い療養生活を目指して

16:55~17:00 <閉会挨拶>

福井県 1 型の会実行委員・福井ひまわりの会 会長 川崎直人

講師紹介 (講演順)



小川洋平先生 1999 年 高知大学医学部 (旧:高知医科大学医学部) 卒業、同年新潟大学医学部小児科 入局。
2005 年 東京女子医科大学糖尿病センター内科に国内留学。2008 年 新潟大学医学部小児科 医員。
2009 年 新潟大学医学部総合地域医療学講座 特任助教。2012 年 新潟大学医学部総合地域医療学講座 特任講師。
2016 年 新潟大学医学部新潟地域医療学講座 特任講師 現職。

小児糖尿病キャンプ (学生スタッフとして初参加。以降、小児科医師として参加、企画・運営に携わる)
医学博士 (新潟大学大学院卒) (肥満小児のアディポサイトカインに関する研究)

日本糖尿病学会 評議員・専門医・指導医、日本糖尿病協会 インスリンケアサポート委員、日本小児科学会 専門医
日本小児内分泌学会 評議員、日本内分泌学会会員、日本肥満学会会員、日本小児保健学会員、新潟市学校糖尿病検診判定委員
新潟市生活習慣病検討委員、ペガサスの会 (新潟県小児糖尿病患者家族会) 相談役、新潟小児糖尿病キャンプ事務局長



大澤謙三 (おおさわ けんそう) 先生
大沢内科クリニック 院長

1981 年 3 月 金沢大学医学部卒業・同年 4 月 金沢大学医学部第 1 内科 入局。以後、金沢大学医学部附属病院、
福井赤十字病院、黒部市民病院、国立山中病院などの勤務を経て、1988 年 4 月 金沢大学医学部第 1 内科 助手。
1992 年 4 月 金沢大学医学部第 1 内科 講師。1996 年 4 月 富山市民病院。1998 年 4 月 市立砺波総合病院。
2005 年 4 月 砺波市平和町にて「大沢内科クリニック」を開業。

日本糖尿病学会糖尿病専門医・指導医
日本糖尿病協会富山県支部「小児・ヤング糖尿病委員会」委員長
砺波医師会理事、富山県保険医協会副会長